

※下書き用紙に表示している内容は2023年1月現在のものであり、実際の表示とは異なる場合があります※

2023年度
スカラネット入力下書き用紙
【貸与奨学金のみ申込み用】（大学・短期大学・専修学校専門課程）



貸与奨学金のみを申し込み際の「スカラネット入力下書き用紙」です。在学している学校が確認大学等（給付奨学金対象校）であり、給付奨学金と貸与奨学金の両方を申し込みの場合は、給付奨学金案内に挟み込まれている「スカラネット入力下書き用紙【給付奨学金（貸与同時申込み）用】」を使用してください。

スカラネットURL <https://www.sas.jasso.go.jp/>
受付時間 8:00~25:00（最終締切日は8:00~24:00）
※受付時間を過ぎると画面が強制終了します。余裕をもって入力を開始してください。
入力所要時間の目安は30分~1時間です。



①	氏名 科学 太郎	学籍番号 23AF000	学部・学科・分野 生命環境学部	入力の際に必要な項目です。学校の担当者におき正ししい称を記載してください。
②	受付番号			入力が完了し、「登録」ボタンを押し左側に「受付番号」が画面に表示されます。この部分は、定期採用で申込みした場合は「2」、緊急採用・非常採用で申込みした場合は「3」になります。

【スカラネット入力の順に、手元に用意する書類】

- ・学校から受け取った識別番号（ユーザIDとパスワード）
- ・マイナンバー提出書
- ・奨学金振込口座（本人名義）の通帳などのコピー（本冊子15ページに貼り付けてください。）

【スカラネット入力内容記入欄】

※インターネットで申し込みの際は、「奨学金案内」40ページ「(3) 文字入力」を参照して文字を入力してください。

③ 識別番号入力
あなたの識別番号（学校から交付されたユーザIDとパスワード）を入力してください。
(注) パスワード入力の際は全角・半角、大文字・小文字の区別をします。

④ 奨学金学種（学校）・申込の選択
あなたはどの課程で奨学金を受けたいですか。
課程：大学の場合の表示例

⑤ (1) 定期採用（1次又は2次 給付奨学金・貸与奨学金）
 現在在学している大学の奨学金を申込みすることができます。

(2) 家庭実態採用（給付奨学金のみ）
 生計維持費に特定の事由が生じたことで家庭実態が、卒業後の収入状況が地方情報に反映される前に支援を要する場合のみ申込みすることができます。学校で申込資格を確認してください。

(3) 緊急採用・非常採用（貸与奨学金のみ）
 過去1年以内に生計を維持している人が失業、破産、倒産、病気、死亡等又は火災、風水害等により家庭実態が生じた人のみ申込みすることができます。学校で申込資格を確認してください。

貸与奨学金制度

申込手順等

スカラネット入力下書き用紙

貸与開始と返還

2023年度《二次採用》 スカラネット入力下書き用紙 記入例

こちらの**赤色**の下書き用紙は

- ・ **貸与奨学金のみ申請者** が使用します。
- ・ 給付奨学金のみを申請する方
- ・ 給付奨学金・貸与奨学金療法を申請する方
⇒ **青色**の下書き用紙を使用してください。



◆全員記入

①	氏名…学生本人の氏名を記入
	学籍番号…学生証を確認して正しく記入 ※アルファベットは大文字・「s」はつきません
	学部・学科・分野…学部を記入 ※生命環境学部・医療科学部・教育人間科学部のいずれか
②	受付番号…未記入で提出
③	ユーザID・パスワード…未記入で提出
④	「大学」と記入
⑤	「(1)定期採用」に <input checked="" type="checkbox"/>

①-あなたの氏名・誓約情報

日本学生支援機構理事長 殿
私は貴機構奨学金の申込みにあたり、学校に提出した「誓約書等同意書」にしたいが、奨学生に採用決定後は速やかに「返還誓約書」を提出し、貸与が終了した後は滞りなく返還すること及び以下の申込み記載事項については正しく記入することを誓約します。

1. 姓 (全角漢字) **桐学 太郎**
5文字以内

2. 氏名 (全角カナ) **カガク タロウ**
15文字以内

3. 生年月日 **200*** 年 **0** 月 **0** 日生
生年月日の入力欄を點擊すると、正しく成年判定を行うことができませんので注意してください。

<年齢>	
和暦	西暦
8	1996
9	1997
10	1998
11	1999
12	2000
13	2001
14	2002
15	2003
16	2004
17	2005

国籍 日本国籍 日本国籍以外
※国籍が「日本国籍以外」を選んだ人は、在留資格の証明書類を学校へ提出する必要があります。
※在留資格が永住者又は特別永住者の場合は、在留期間(満了日)の入力は不要です。

在留資格
在留期間(満了日) 西暦(半角数字4桁) 年 月 日
在留資格が「定住者」の場合、日本に永住する意思がありますか。 はい いいえ
※誓約日は以後訂正することができません。

あなたが在学している学校が「認定大学等(私立奨学金対象校)」である場合は、貸与奨学金の内容を書いた画面が表示されます。

誓約日はスカラネット入力日としてください。すでに入力した誓約日を修正し、成年判定を行います。

学生本人の本名を、全角漢字及び全角カナで入力してください。名刺が欲しい場合は、記入するまえに入力してください。【奨学金案内】40ページ「④(入学入力)参照。」

外字は使用しないでください。
(例) 吉一吉、廣一廣、前一前

漢字氏名には「[]」ともに入力できますが、カナ氏名に「[]」は入力できません。カナ氏名には代わりに「[]」と入力してください。

(例) 漢字氏名 **桐学 太郎** カナ氏名 **カガク タロウ**

姓・名義ともに「[スペース]」は入力しないでください(ミドルネームはもとつけて入力してください)。
(例) 漢字 トーマス 太郎 **トーマス** **トーマス**

カ ナ 氏 名 は、親 戚 以 外 の 親 戚 人 氏 名 と 同 一 の 氏 名 を 入 力 せ ず 得 ず。 同 姓 同 名 の 親 戚 人 氏 名 を 入 力 せ ず 得 ず。

外 籍 籍 の 人 は【奨 学 金 案 内】10 ペ ー ジ の 表 の と お り 在 留 資 格 に 相 応 じ て 入 力 し ます。 必 ず 在 留 資 格 を 在 留 カ ー ド 等 で 確 認 し て 下 さ い。

日本人の配偶者等、永住者の配偶者等及び定住者の人は、在留期間(満了日)を入力してください。在留資格が法定特別永住者又は定住者の場合は、在留期間(満了日)の入力は不要です。

STEP3

④-奨学金申込情報

1. あなたの希望する貸与奨学金を1つ選択してください。

(a). 第一種奨学金又は第二種奨学金のどちらかを希望する人のみ記入してください。

○(1) 第一種奨学金のみ希望します。
○(2) 第一種奨学金を希望するが、不採用の場合第二種奨学金を希望します。
○(3) 第二種奨学金のみ希望します。

(b). 併用貸与を希望する人のみ記入してください。

○(4) 第一種奨学金及び第二種奨学金との併用貸与のみ希望します。
○(5) 併用貸与を希望するが、不採用の場合第一種奨学金のみ希望します。
○(6) 併用貸与不採用及び第一種奨学金不採用の場合、第二種奨学金を希望します。
✓(7) 併用貸与不採用の場合、第二種奨学金のみ希望します。

(c). 現在奨学金の貸与を受けている人のみ記入してください。

○(8) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、第一種奨学金への変更を希望します。
○(9) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、第二種奨学金への変更を希望します。
○(10) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。
○(11) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。
○(13) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。併用貸与不採用の場合、第二種奨学金への変更を希望します。
○(14) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。併用貸与不採用の場合、第一種奨学金への変更を希望します。

※(12)は欠番です
上記(8)、(9)、(10)、(11)、(13)、(14)を選択した人は奨学生番号を記入してください。

奨学生番号
(半角数字) (例: 822 04 999999)

在学している学校が「認定大学等(私立奨学金対象校)」である場合は、①-奨学金申込情報(貸与奨学金を希望しますか)で「希望します」を選択すると表示されます。

あとで変更することはできません。【奨学金案内】28ページの解説内容をよく確認し、希望する1つを選択してください。

【(8)・(9)を選択する人へ】
既に第一種・第二種のどちらか一方を貸与中(又は貸与予定)の予約採用者又は短期大学・高等専門学校・専修学校から大学への編入学により第二種奨学金を継続する人で、今回の申込みでもう一方の奨学金を申し込み、奨学金の種類の第一種・第二種へ変更する場合は、下のように入力してください。
○奨学生番号(823又は823から始まる奨学生番号)が決定している場合
→(8)又は(9)を選択し、下の奨学生番号欄に決定した奨学生番号を入力する。
○奨学生番号(823又は823から始まる奨学生番号)が未決定の場合
→(a)の(1)又は(3)を選択し、別途「変更希望」であることを学校担当書へ申し出る。

(8) (9) (13) (14)を選択した人は奨学生番号を必ず入力してください。

【(10)・(11)を選択する人へ】
既に第一種・第二種のどちらか一方を貸与中の人、予約採用者、又は短期大学・高等専門学校・専修学校から大学への編入学により第二種奨学金を継続する人で、今回の申込みでさらにもう一方の奨学金を申し込み、併用貸与を希望する場合は(10)又は(11)を選択してください。
○予約採用又は大学への編入学による継続貸与の奨学生番号(823又は823から始まる奨学生番号)が未決定の場合
→奨学生番号欄は入力不要。
なお、併用貸与を受ける場合は併用貸与の学力基準(奨学金案内110ページ参照)及び設計基準(収入・所得の目安は111ページ参照)を満たすことが必要です。

【(13)・(14)を選択する人へ】
希望する併用貸与への変更が不採用だった際に、現在貸与を受けている奨学金とは異なる種類の貸与奨学金への変更を希望する場合は、(13)又は(14)を選択してください。
○奨学生番号(823又は823から始まる奨学生番号)が決定している場合
→(13)又は(14)を選択し、下の奨学生番号欄に決定した奨学生番号を入力する。
○奨学生番号(823又は823から始まる奨学生番号)が未決定の場合
→(a)の(1)又は(3)を選択し、別途「変更希望」であることを学校担当書へ申し出る。

◆全員記入

- ① 誓約日…未記入で提出
- ② 申請者本人の氏名・生年月日を記入
- ③ 国籍についてあてはまるものを選択し
※「日本国籍以外」を選択した場合は、在留資格、在留期間等についても回答してください。
- ④ 貸与奨学金案内P.28~29を必ず確認し、自分が希望する貸与奨学金を選択しを入れてください。

貸与奨学金制度

申込手順等

スカラネット入力下書き用紙

貸与開始へ返還

①—あなたの在学情報

1. 学校

(1) あなたの学校名を確認してください。 (1) ×× 大学

(2) あなたの学籍番号を記入してください。 (2) (半角英数字記号)

(3) あなたの在学している学部 (科) 名を選択してください。 (3)

(注) 短期大学・専修学校に在学している方は学校の表示し方が違って選択してください。

(4) あなたは専攻科または別科に在学していますか。 (4) いいえ 専攻科 別科

(5) 学年を記入してください。 (5) (半角数字) 学年

(6) 所属課程を選択してください。
昼 (昼夜開講含む) 夜 通年スクーリング 隔年スクーリング

(7) 現在通っている学校への入学について、次の①～③のうち該当するものを選択し、入学年月等を記入してください。
①現在通っている学校の1年次に入学した。(同一校で転学部・科している場合を含む)
 →入学した年月: 西暦 (半角数字4桁) 年 月
②現在通っている学校の2年次以上の学年(課程)に、他の学校から編入学又は転学した。(以下3つの年月を全て記入してください)
 →現在通っている学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校へ入学した年月: 西暦 (半角数字4桁) 年 月
 →現在通っている学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校に在籍していた最終年月: 西暦 (半角数字4桁) 年 月
 →現在通っている学校へ編入学又は転学した年月: 西暦 (半角数字4桁) 年 月
③現在通っている学校の2年次以上の学年(課程)に、他の学校から編入学又は転学した(編入学又は転学する前に在学していた学校(大学、短大、高専、専門学校)が2つ以上ある)
 (以下5つの年月を全て記入してください)
 【1回目の編入学】
 →2回目の学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校へ入学した年月: 西暦 (半角数字4桁) 年 月
 →2回目の学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校に在籍していた最終年月: 西暦 (半角数字4桁) 年 月
 →2回目の学校へ編入学又は転学した年月: 西暦 (半角数字4桁) 年 月
 【2回目の編入学】
 →現在通っている学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校に在籍していた最終年月: 西暦 (半角数字4桁) 年 月
 →現在通っている学校へ編入学又は転学した年月: 西暦 (半角数字4桁) 年 月
 (8) あなたの正期の卒業予定年月を記入してください。 (8) 西暦 (半角数字4桁) 年 月卒業予定
 (9) あなたの正期の修業年限を記入してください。 (9) (半角数字) 年 か月

<入学・卒業予定年月早見表>

2023年4月現在 1年生			2023年4月現在 2年生		
修業年限	入学年月	卒業予定年月	修業年限	入学年月	卒業予定年月
2年		2025/3	2年		2024/3
3年		2026/3	3年		2025/3
4年	2023/4	2027/3	4年	2022/4	2026/3
5年		2028/3	5年		2027/3
6年		2029/3	6年		2028/3

2023年4月現在 3年生			2023年4月現在 4年生		
修業年限	入学年月	卒業予定年月	修業年限	入学年月	卒業予定年月
3年		2024/3	4年		2024/3
4年		2025/3	5年	2020/4	2025/3
5年	2021/4	2026/3	6年		2026/3
6年		2027/3			

※長期履修学生について

長期履修学生(「奨学金案内」15ページ参照)については、原則として奨学金を受けることのできる期間は通常課程の標準修業年限に相当する期間のみとなります。この場合、卒業予定年月は通常課程の卒業予定年月を、修業年限は通常課程の標準修業年限を記入のうえ、学校担当へ申し出てください。

(2023年4月入学者の例)
 通常課程の標準修業年限は2年・卒業予定年月は2025年3月
 3年かけて履修し2026年3月が卒業予定年月となる長期履修学生
 →卒業予定年月は2025年3月・修業年限は2年0か月と入力してください。

なお、第二種奨学金の場合は、採用後に所定の手続きを行うことによって学期に定める「長期履修課程の修業年限の総期まで」貸与を延長することができます。詳しくは、学校に相談してください。

(2) 学籍番号は半角英数字や半角ハイフン(-)以外の文字を入力することができません。学籍番号にそれ以外の文字が含まれている場合、学校の提示に当たってください。

(4) 専修学校は、「あなたは、上級学科に在学しているですか」という質問が表示されます。学校からの提示がない限り(4)は「いいえ」を選択してください。

(5) 下記に記載の<入学・卒業予定年月早見表>を参照し、卒業年月に合わせた卒業予定年月を入力してください。編入学の場合は編入した学年を入力してください。(例)
 ○2年次休学のため3年次へ進級できなかった場合→2学年
 ○3年次編入→3学年

(6) 通常課程の学生は「昼(昼夜開講含む)」又は「夜」を選択してください。

(7) ①～③から該当する1つを選択してください。
 編入学又は転学した人は、期に在学していた学校への入学年月等も入力が必要ですが、専修専門学校からの編入学又は転学の場合は、期の学校の入学年月は専修専門学校の4年次進級年月を入力してください。(例)
 2021年4月にA短期大学に入学。2023年3月にA短期大学卒業後、2023年4月にB大学の3年次に編入学
 →現在通っている学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校へ入学した年月: 2021年4月(A短期大学の入学年月)
 →現在通っている学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校に在籍していた最終年月: 2023年3月(A短期大学の卒業年月)
 →現在通っている学校へ編入学又は転学した年月: 2023年4月(B大学へ編入学した年月)

短期大学の専攻科に在学している人は、以下の年月を入力する期間になります。
 ・専攻科に入学する前に通っていた学校へ入学した年月
 ・専攻科に入学する前に通っていた学校に在籍していた最終年月
 ・専攻科に入学した年月

緊急採用・政令採用に申し込む場合は、入学年月のみを入力する期間となりますので、現在在籍している課程の1年次に入学した実際の年月(在学している学校に編入学又は転学した人は、編入学又は転学する前の学校の1年次に入学(専修専門学校からの編入学又は転学の場合は、専修専門学校の4年次進級)した実際の年月)を入力してください。

(8) 通常は正期の卒業予定年月を入力します。例えば新入生で2年課程の人は2025年3月になりますが、過去に休学や留年をしたことがある人は、入学当初の卒業予定ではなく、現在の卒業予定年を入力してください(左に記載の<入学・卒業予定年月早見表>を参照してください)。なお、年次途中で修了など特別な事情による、卒業月が3月以外になる学部・学科に在籍する場合は学校に確認してください。

(9) 「修業年限」とは、あなたの学部・学科(所在課程のもの)という意味です。
 ※履修点からあと何年通うかという意味ではありません。入学間違いをしないよう注意してください。(例)
 ○4年課程の3年次に在学(編入)する人の修業年限は4年。
 ○2年課程に在学し、1年次の途中で中し、2人目の修業年限は2年(1年5月ではありません)。

貸与奨学金制度
申込手順等
スカラネット入力力下書き用紙
貸与開始～返還

◆全員記入

(2)	学籍番号を正しく記入								
(3)	所属する【学部】を記入 (生命環境学部/医療科学部/教育人間科学部)								
(4)	「いいえ」に <input checked="" type="checkbox"/>								
(5)	学年を記入								
(6)	「昼(昼夜開講含む)」に <input checked="" type="checkbox"/>								
(7)	①～③の中から該当するものを選択し <input checked="" type="checkbox"/> 入学年月等を記入 (例)高校等を卒業した後、帝京科学大学の1年次に入学した場合⇒①を選択し入学年月を記入。 正しい卒業予定期を記入してください。								
(8)	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>4年</td> <td>2024年 3月</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>2025年 3月</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>2026年 3月</td> </tr> <tr> <td>1年</td> <td>2027年 3月</td> </tr> </tbody> </table>	4年	2024年 3月	3年	2025年 3月	2年	2026年 3月	1年	2027年 3月
4年	2024年 3月								
3年	2025年 3月								
2年	2026年 3月								
1年	2027年 3月								
(9)	「4年0か月」と記入								

貸与奨学金制度

申込手順等

スカラネット入力下書き用紙

貸与開始～返還

入学年度へ入力した入学年度により選択できる月額が異なります

(10) あなたの通学するキャンパスのある住所を入力してください。

郵便番号を入力して「住所検索」ボタンを押しても住所が自動入力されない場合は、郵便番号ホームページから住所を自分で郵便番号検索し、本画面に入力してください。

① (郵便番号) (半角数字) 住所検索

住所 1 (自動入力) 住所検索

住所 2 (郵便以降) (全角文字)

(11) あなたの通学形態を選択してください。

※社会的養護が必要とする人が、児童養護施設や養育院等の中から通学し本人居住にかかる費用(家賃)を負担していない場合は、「自宅通学(またはこれに準ずる)」を選択してください。

※社会的養護が必要とする人を含む自立生活者が居住にかかる費用(家賃)を支払いつつながら通学している場合は、学校までの通学距離・時間等に問わず「自宅外通学」を選択し、下記説明にて②及び「支障が生じる」を選択のうえ、支障が生じる理由の入力欄に「自立生活者である」旨を入力してください。

※給付奨学金を希望する人が「自宅外通学」を選択した場合でも、自宅通学の月額からの振込み開始となります(給付奨学金に併せて第一種奨学金を希望する場合、第一種奨学金も自宅月額からの振込みとなります)。自宅外月額の振込みは、生計維持者(原則父母)と別居し、かつ学生等本人の居住に係る家賃が発生していることの証明書類(アパートの賃貸借契約書のコピー等)を学校へ提出し、不備なく審査終了してからとなります。

② 自宅通学(またはこれに準ずる) 自宅外通学

上記で「自宅外通学」を選択した人に限ります。

「自宅外通学」が適用される要件は、次のとおりです。あなたが該当するものを全てを選択してください。

③ ①(実家(生計維持者以外の住所)から大学等までの通学距離が片道60キロメートル以上

②(実家から大学等までの通学時間が片道120分以上

③(実家から大学等までの通学費が月1万円以上

④(実家から大学等までの通学時間が片道90分以上であって、通学時間帯に利用できる交通機関の運行本数が1時間当たり1本以下

⑤(その他、やむを得ない特別な事情により、学業との関連で、実家からの通学が困難な場合

上記で④その他の他やむを得ない特別な事情により、学業との関連で、実家からの通学が困難」と答えた人は、実家から通学した場合、学業継続に支障が生じますか。

支障が生じる 支障が生じない

上記で「支障が生じる」と答えた人は、支障が生じる理由を以下に記入してください。

④ (郵便番号) (半角数字) 住所検索

住所 1 (自動入力) 住所検索

住所 2 (郵便以降) (全角文字)

④-1 奨学金給付額情報

貸与奨学金のみ希望する方は、入力の必要はありません。

④-2 奨学金貸与額情報

1. 第一種奨学金を希望する人は次のことに答えてください。

(1) あなたの希望する月額を1つ選択してください。

⑤ (1) 6万4千円 5万円 4万円

【2018年度以降入学者(2018年4月以降の入学年月を入力した人)の貸与月額】

区分 月額 の種類	大学				短期大学・専修学校(専門課程)			
	国・公立		私立		国・公立		私立	
	自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外
最優月額	4万5千円	5万1千円	5万4千円	6万4千円	4万5千円	5万1千円	5万3千円	6万円
最優月額 以外の月額		4万円	4万円	4万円		4万円	4万円	4万円
	3万円	3万円	3万円	3万円	3万円	3万円	3万円	3万円
	2万円	2万円	2万円	2万円	2万円	2万円	2万円	2万円

→ 最優月額を選択した人は、以下の質問に答えてください。

貸与月額〇〇円は一定の条件を満たした場合のみ貸与を受けられる月額です。

条件を満たさなかった場合に希望する月額を選択してください。

⑥ 5万円 4万円

郵便番号入力後に「住所検索」ボタンを押すと、入力した郵便番号に相当する住所が「住所1」に自動表示されますので、2023年4月時点(二次採用(既)で奨学金を申し込みの場合は2023年10月時点)で通学しているキャンパスの住所を選択してください。自動表示されない場合は郵便番号ホームページから住所をもとに郵便番号を検索し、本画面に入力してください。「住所2」には、「住所1」で選択した住所以降を、居住等が重複しないように入力してください。

※④ページの「住所の入力例」参照。

2023年4月時点(二次採用(既)で奨学金を申し込みの場合は2023年10月時点)での状況に基づき選択してください。

自宅外通学とは、あなたが生計維持者以外の自宅外通学を、かつあなた本人の居住に係る家賃を支払っている状態のことをいいます。また、「自宅外通学」の月額を選択する場合、(1)の④⑤⑥いずれかの要件に該当する必要があります。いずれも該当しない場合は「自宅通学(又はこれに準ずる)」を選択してください。

ただし、社会的養護が必要とする人を含む自立生活者で、居住に係る家賃が発生している人については、※2つ目(既)に記述したことがしてください。

「自宅通学(またはこれに準ずる)」を選択した場合は、入力不要(ボタンを押すことはできません)。

「自宅外通学」を選択した場合は入力が必要となります。2023年4月時点(二次採用(既)で奨学金を申し込みの場合は2023年10月時点)から現在までお住まいの住所を入力してください。

郵便番号を郵便番号ホームページ等住所をもとに事前に確認してください。

郵便番号入力後に「住所検索」ボタンを押すと、入力した郵便番号に相当する住所が「住所1」に自動表示されますので、お住まいの住所を選択してください。「住所2」には、「住所1」で選択した住所以降を、居住等が重複しないように入力してください。

※④ページの「住所の入力例」参照。

入学している学校が短期大学等(給付奨学金対象校)ではない場合、あなたが入学する学校は、給付奨学金の対象外のため入力の必要はありません」と表示されます。

入学年度によって、適用される貸与月額が異なります。

また、専修学校(専門課程)のうち、独立行政法人及び地方独立行政法人が設置する専修学校は「国・公立」の月額が適用されます。ブルックリストから希望する月額を選択してください。

最優月額を利用するためには、併用貸与の選択基準を満たしていることが必要です。

それぞれの月額を利用できる収入・所得金額の目安は「奨学金案内」の11ページを参照してください。

※の定額採用で採用されること、第一種奨学金の貸与期間は2023年4月(既)は10月)となります(入学年度により異なります)。

自宅外通学の場合でも、自宅月額を選択することができます(入学年度により異なります)。

最優月額が認められなかった場合に希望する月額を上記の最優月額以外の月額から選択してください。

◆全員記入

通学しているキャンパスの住所を記入。

	千住キャンパス	東京西キャンパス
① 郵便番号	120-0045	409-0133
住所1	東京都足立区千住桜木2丁目	山梨県上野原市ハツ沢
住所2	2-1	2525

② 実家から通っている⇒「自宅通学」に
アパート等で一人暮らし⇒「自宅外通学」に

③ 自宅外通学者は、あてはまるもの全てにを入れてください。

④ 自宅外通学者は、一人暮らしの現住所を記入してください。
※アパート名、部屋番号等も忘れずに記入すること。

◆第一種奨学金希望者は記入

⑤ 希望する貸与月額を記入してください。

※選択できる月額は、通学形態によって異なるので、選択可能な月額を記入してください。(表の緑色に囲まれている月額の中から選択)

⑤で最高月額を選択した方は、最高月額が利用できなかった場合に希望する貸与月額を記入してください。

⑥ ※最高月額
自宅通学者…54,000円
自宅外通学者…64,000円

STEP4
①-あなたの履歷情報

1. あなたの最終学校を教えてください。
① 1. 西暦(半角数字4桁) 年 月 卒業または退学

2. あなたは国内の高等学校(本科)を卒業しましたか。
※ここでいう「高等学校」には、国内の中等教育学校の後期課程、特別支援学校の高等部、
高等専門学校(第1学年から第3学年まで)又は専修学校の専修課程(修業年限が3年以上のもの)を含みます。(インターナショナルスクールや在外教育施設等は含みません)
※現在、高等専門学校の第1学年から第3学年まで在学中の場合のみ「在学中」と入力してください。
「はい」と答えた人にのみ表示します。
あなたがはじめて国内の高等学校を卒業した年月を記入してください。
③ 西暦(半角数字4桁) 年 月

「いいえ」と答えた人にのみ表示します。
あなたが現在通っている学校への入学前の履歷は次のうちどちらになりますか。
○高等学校卒業程度認定試験合格者
○その他(インターナショナルスクール、在外教育施設等)
「高等学校卒業程度認定試験合格者」と答えた人にのみ表示します。
あなたは高等学校卒業程度認定試験について合格しましたか。
西暦(半角数字4桁) 年 月

あなたは、高等学校卒業程度認定試験の受験資格を取得した年度(16歳になる年度)から高等学校卒業程度認定試験合格者となった年度まで5年を経過していますが、5年を経過した後も毎年度高等学校卒業程度認定試験を受験していませんか。
○はい ○いいえ

「その他」と答えた人にのみ表示します。
あなたが卒業又は修了した「その他」の学校名(正式名称)とその学校を卒業又は修了した年月を記入してください。
西暦(半角数字4桁) 年 月

3. 【給付】 あなたはこれまでに、日本学生支援機構の給付奨学金(奨励、改善本費)を受取っていますか。(現在支給が終了しているものを含む)
⑤ はい いいえ

【貸与】 あなたはこれまでに、「②-奨学金申込情報」で入力した中に日本学生支援機構の貸与奨学金(第一種・第二種)(奨励、奨励費)を受取ったことがありますか。(現在貸与が終了しているものを含む)
⑥ はい いいえ

上のいずれかの設問で「はい」を選択した人は、その奨学生番号を記入してください。
※第一種奨学金を利用している人が給付奨学金を受給する場合は、貸与額が調整されます。
※貸与・給付を受けた奨学金が複数ある場合は、「追加」ボタンを押して、すべての奨学生番号を記入してください。
※奨学生番号の記入を取り消す場合は、「削除」ボタンを押してください。

⑦

奨学生番号 1	1	<input type="text" value="6**"/>	<input type="text" value="04"/>	<input type="text" value="*****"/>	<input type="button" value="削除"/>	<input type="button" value="追加"/>
奨学生番号 2	1	<input type="text" value="611"/>	<input type="text" value="04"/>	<input type="text" value="999999"/>	<input type="button" value="削除"/>	<input type="button" value="追加"/>
奨学生番号 3	2	<input type="text" value="618"/>	<input type="text" value="08"/>	<input type="text" value="999999"/>	<input type="button" value="削除"/>	<input type="button" value="追加"/>
奨学生番号 4	3	<input type="text" value="809"/>	<input type="text" value="01"/>	<input type="text" value="999999"/>	<input type="button" value="削除"/>	<input type="button" value="追加"/>
奨学生番号 5	4	<input type="text" value="814"/>	<input type="text" value="02"/>	<input type="text" value="999999"/>	<input type="button" value="削除"/>	<input type="button" value="追加"/>
奨学生番号 5	5	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="button" value="削除"/>	<input type="button" value="追加"/>

※第二種奨学金の貸与について確認してください。
あなたは、これまでに同一の学校区分で2回以上、第二種奨学金の貸与を受けています。日本学生支援機構の措置により、これ以上第二種奨学金を申し込むことができず、借りられる期間が制限される場合があります。
 確認しました

◆全員記入

①	直近に卒業又は退学した学校の卒業(退学)年月および学校を記入してください。
②	国内の高等学校(本科)を卒業したかどうかについて回答してください。
③	②で「はい」を選択した人は、はじめて国内の高等学校を卒業した年月を記入してください。
④	②で「いいえ」を選択した人は、入学前の履歷について当てはまるものを選択し <input checked="" type="checkbox"/>
⑤	これまでに、日本学生支援機構の給付奨学金の給付を受けたことがあるかどうか回答してください。
⑥	これまでに、日本学生支援機構の貸与奨学金をかりたことがあるかどうか回答してください。
⑦	⑤⑥で「はい」を選択した人は、奨学生番号を記入してください。

① ①-保証制度で「(1) 機関保証」を選択した人

2. 本人以外の連絡先について
あなたは保証制度画面で「機関保証」を選択しています。あなた以外の連絡先について入力してください。

(1) その氏名

(1) 漢字 (全角漢字)	姓	名
カナ (全角カナ)	カガク	イチロウ

(2) その生年月日 (2) [****]年 [○]月 [○]日 生日

(3) あなたとの続柄 (3) [父]

(4) その住所 (4) (郵便番号) (半角数字) [**] [**-****] 住所検索

住所1 (自動入力) [**県**市**]

住所2 (番地以降) (全角文字) [****-**]

(5) その電話番号
※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。

(5) (半角数字) [****] [**-**] [****]

その携帯電話の電話番号 (携帯) (半角数字) [090] [****] [****]

①-保証制度にて「機関保証」を選択した場合には表示されます。

機関保証を選択した人は、あなた（本人）以外の連絡先を入力する必要があります。あなたに送付する重要な書類が届かない場合等に、ここに入力した連絡先に、あなたの住所・電話番号を照会することがあります。

※注意！「本人以外の連絡先」を入力する前に、必ずその人の承諾を得てください。ここで入力した「本人以外の連絡先」は採用されることと返還誓約書に印字されます。万一、返還誓約書に印字していただいたと判断となり奨学金の資格を失うこととなります。

※海外の住所を入力することはできません。連絡の取れる日本国内の住所を入力してください。

※郵便番号を郵便局ホームページ等で住所をもとに事前に確認してください。

※郵便番号入力後に「住所検索」ボタンを押すと、入力した郵便番号に相当する住所が「住所1」に自動表示されますので、お住まいの住所を選択してください。「住所2」には、「住所1」で選択した住所以降を、番地等が重複しないように入力してください。

※「国」ページの「住所の入力例」参照。

※固定電話と携帯電話を両方所有している場合は、どちらとも入力してください。

② ①-保証制度で「(2) 人的保証」を選択した人

3. 連帯保証人と保証人について
あなたは保証制度画面で「人的保証」を選択しています。連帯保証人及び保証人について入力してください。

(1) 連帯保証人について入力してください。

- ・(あなた (申込者) が成年の場合) 原則として、父母・兄弟姉妹又はおじ・おば等に入ってください。
- ・未成年者等保証能力がない人は認められません。
- ・債務整理 (破産等) 中の人を連帯保証人に選任することは認められません。

(a) その氏名

(a) 漢字 (全角漢字)	姓	名
カナ (全角カナ)	カガク	イチロウ

(b) その生年月日 (b) [****]年 [○]月 [○]日 生日

(c) あなたとの関係 (c) [父]

未成年後見人の場合は、その続柄

(d) その住所
・連帯保証人の印鑑登録証明書 (市区町村発行) に記載されている住所を入力してください。
※印鑑登録証明書には住所と同じ住所が記載されています。

(d) (郵便番号) (半角数字) [**] [**-****] 住所検索

住所1 (自動入力) [**県**市**]

住所2 (番地以降) (全角文字) [****-**]

(e) その電話番号
※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。

(e) (半角数字) [****] [**-**] [****]

その携帯電話の電話番号 (携帯) (半角数字) [090] [****] [****]

(f) その勤務先 (f) (全角文字) [株式会社****]

勤務先電話番号 (半角数字) [**] [****] [****]

※連帯保証人が無職の場合は、下記にチェックを入力してください。

無職

①-保証制度にて「人的保証」を選択した場合には表示されます。

連帯保証人・保証人の選任条件は必ず「奨学金案内」24～26ページを確認してください。

※海外の住所を入力することはできません。連絡の取れる日本国内の住所を入力してください。

※郵便番号を郵便局ホームページ等で住所をもとに事前に確認してください。

※郵便番号入力後に「住所検索」ボタンを押すと、入力した郵便番号に相当する住所が「住所1」に自動表示されますので、お住まいの住所を選択してください。「住所2」には、「住所1」で選択した住所以降を、番地等が重複しないように入力してください。

※「国」ページの「住所の入力例」参照。

※固定電話と携帯電話を両方所有している場合は、どちらとも入力してください。

※自営業の場合は「自営業」、農業者の場合は「農業者」と入力してください。

※無職の場合は「その勤務先」には入力せず、こちらにチェックを入力してください。

人的保証を選択した人は、11ページの「(2)保証人について入力してください。」を記入してください。

◆P.9 H-保証制度で「機関保証」を選択した人は記入

① 本人以外の連絡先について記入してください。

- ・本人に送付する重要な書類が届かない場合等に、ここに記入した連絡先に、あなたの住所・電話番号を照会する可能性があります。
- ・採用後に提出が必要な「返還誓約書」に署名をしてもらう必要があります。
- ・必ず連絡先に登録する人に、事前に許可を得てください。

※貸与奨学金案内P.22を参照すること。

◆P.9 H-保証制度で「人的保証」を選択した人は記入

② 連帯保証人について記入してください。

- ・連帯保証人は、原則父母のどちらかにお願ひしてください。
- ・氏名、生年月日、住所は、印鑑登録証明書に記載されているとおりに記入してください。
- ・採用後に提出する「返還誓約書」に署名、押印したり、印鑑登録証明書等の提出が必要です。
- ・必ず連帯保証人をお願いする方に、事前に許可を得てください。

※貸与奨学金案内P.24～26を参照すること。

①-保証制度で「(2) 人的保証」を選択した人(続き)

② 保証人について入力してください。

・原則として、4親等以内の成年親族のうち、あなた及び連帯保証人と別生計の65歳未満の人を選んでください。
 ・未成年者等保証能力がない人は認められません。
 ・貴府縣連(館長等)中の人を保証人に選任することは認められません。

(a) その氏名

姓 名
 (a) 漢字(全角漢字)
 カナ(全角カナ)

(b) その生年月日 (b) 年 月 日生

(c) あなたとの続柄 (c)

(d) その住所
 ・保証人の印鑑登録証明書(市区町村発行)に記載されている住所を入力してください。
 ・印鑑登録証明書には住民票と同じ住所が記載されています。

(d) (郵便番号)(半角数字) - 住所棟号

住所1(自動入力)
 住所2(番地以降)(全角文字)

(e) その電話番号
 ・自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。

(e) (半角数字)
 その携帯電話の電話番号 (携帯)(半角数字)
 (f) その勤務先 (f) (全角文字)
 勤務先電話番号 (半角数字)

(g) はい いいえ

①-保証制度で「人的保証」を選択した人は、連帯保証人及び保証人を1人ずつ(合計2人)入力する必要があります。

連帯保証人は、奨学金の返還についてあなたと同等の責任を負います。
 保証人には、「分別の利益」が適用されます。また、「検索の拒否権」及び「催告の拒否権」があります(連帯保証人にはありません)。
 詳しくは、「奨学金案内」24ページを参照してください。
 また、「奨学金案内」24～26ページにより、選任した連帯保証人・保証人が機構の定める条件を満たすかどうかチェックしてください。選任条件を全て満たし、かつ必要書類を提出できる場合は、連帯保証人・保証人として選任できますので、①0ページの3の(1)、及び本ページの3の(2)を記入してください。
 もし、1つでも選任条件を満たさない、又は必要書類を提出できない場合は、連帯保証人・保証人として選任できません。あらかじめ条件に合致する別の人を選任しなおしてください。条件に合致する人を選任できない場合は、①-保証制度で「機関保証」を選択し、保証制度を変更してください。
 採用時に提出しなければならない書類(返還誓約書)には、スカラネットを入力した連帯保証人及び保証人が自署・押印(実印)し、印鑑登録証明書等を添付しなければなりません。スカラネット入力前に、連帯保証人・保証人として予定している人に役割、自署・押印、提出書類について説明し、奨学金の返還について引き受けることの承諾を得ておいてください。

貸与奨学金制度
 申込手順等
 スカラネット入力下書き用紙

◆P.9 H-保証制度で「人的保証」を選択した人は記入

保証人について記入してください。

保証人は、保証人の条件すべてに該当する方をお願いしてください。

① 父母以外の人
 ② あなた及び連帯保証人と別生計の人。
 ③ 連帯保証人の配偶者・婚約者ではない人。
 ④ 4親等以内の親族。(※)
 ⑤ 申請時点で65歳未満の人(※)
 ⑥ 未成年者・学生・債務整理中でない人。など
 (※)については、代替要件を満たすことで選任が可能。

必ず貸与奨学金案内P.25～26を確認し、選任条件に当てはまっている方を記入してください。

・必ず保証人をお願いする方に、事前に許可を得てください。
 ・氏名、生年月日、住所は、印鑑登録証明書に記載されているとおりに記入してください。
 ・採用後に提出する「返還誓約書」に署名、押印したり、印鑑登録証明書等の提出が必要です。

◆全員記入

② 社会的養護を必要とするかどうかについて回答。「はい」を選択した人はその下の6つの選択肢の中から該当するものに☑

③ 家族全員の人数を記入してください。(本人含めた人数)

④ 生計維持者の人数を記入してください。
 ※生計維持者は原則父母(父母ともいる場合は2名)です。無収入の場合も、生計維持者として入力する必要があります。
 ※貸与奨学金案内P.12～13を確認すること。

STEP7
 ①-あなたの家族情報

1. あなたは社会的養護を必要とする人ですか。
 「はい」と答えた人は、あてはまるものを選択してください。 (2) はい いいえ

○児童養護施設入所者等 ○児童自立支援施設入所者等
 ○児童心理治療施設入所者等 ○自立援助ホーム入所者等
 ○施設に養育されている(いた)人 ○ファミリーホームで養育されている(いた)人

2. あなたの家族の人数
 (1) 家族全員(あなたを含む)の人数を記入してください。 (3) 人

3. 生計維持者(原則父母、父母がいない場合は代わって生計を維持する人)について記入してください。
 1で「はい」と回答した人については、生計維持者について一部自動表示されます。
 ※父母がいる場合は、収入の有無に関わらず必ず父母とも生計維持者として入力が必要で(離婚等により完全に別生計の人を除く)。

(1) あなたの生計維持者の人数を選択してください。 (4) 人

生計維持者は最大2人です。

18歳時点であてはまり、「はい」を選択する人は、施設に入所していた、又は養育による養育を受けていたことが分かる自治体が発行した証明書等の提出が必要である。
 (証明書類の明細) 施設等在籍証明書(施設長発行)、児童(養護)委託証明書(児童相談所発行)、措置解除決定通知書(児童相談所発行)等
 ※機構の指定様式「施設等在籍・退所証明書」でも可。

申込者と生計が同一(同じ収入で生活している)である全員の人数です(両側別居を問いません)。収入があり別生計の兄弟姉妹や祖父母は含めません。また、①-あなたの家族情報1.で「はい」及び施設等を選択した場合は自動的に1と表示されます。

※生計維持者については、必ず「奨学金案内」12～13ページを参照してください。
 生計維持者は、あなたの生計を維持する人という意味であり、原則父母(父母ともいる場合2人と)としています。無収入の場合でも、生計維持者として入力する必要があります。入力能力がない場合は、機関保証を選択してください。

貸与奨学金制度

申込手順等

スカラネット入力下書き用紙

貸与開始・返還

① 生計維持者① (父母のいずれか、父母がいない場合は代わって生計を維持する人)

(a) あなたの続柄 (a) 父

(b) 生計維持者①の氏名 (b) 姓 名
漢字 (全角漢字) 姓 名
カナ (全角カナ) カガク イチロウ

(c) 生計維持者①の住所 (c) (郵便番号) (半角数字) ***-**** 住所形式
住所 1 (自動入力) *****
住所 2 (番地以降) (全角文字) *****

(d) 生計維持者①の生年月日 (d) ****年 ○月 ○日 生

(e) 生計維持者①のマイナンバーを欄頭に提出する準備はできていますか。
(注1) 「その他」を選択した人は、提出できない事情を選択してください。
(注2) 家計簿のため、マイナンバーの提出が必要です。
提出できない場合は、別途毎年所得証明書の提出が必要となります。
準備できている
これから準備する
その他

(f) 所得 (申込時点の所得) について、該当するものすべてを選び、年額を入力してください。
※金額は万円単位で入力してください。(例: 1,000,000円→100万円)

給与所得 (年額 万円)
 商店・農業工業、個人経営 (年額 万円)
 失業手当 (年額 万円)
 生活保護費

※生計維持者はマイナンバーより情報連携しますので、金額の入力は不要です。
該当する場合は、2のみを入力してください。

養育手当金 年額 万円
 年金 年額 万円
 児童手当・児童扶養手当・特別児童扶養手当 年額 万円
 祖父母等からの補助や教育費等 年額 万円
 その他 年額 万円
 2021年1月1日以前から無職

※無職であっても他に収入が存在する場合は、上記の該当する項目を選び、年額を入力してください。

「1.給与所得」または「2.商店・農業工業、個人経営」を選んだ人は、あてはまるものを
選択してください。

② 2021年1月2日以前に就職・転職・退職・開業・廃業しましたか。
 2021年1月1日以前から同じ勤務先 (同じ業務形態で事業経営)
※生計維持者のマイナンバーから収入情報を連携しますので収入金額の入力は不要です。
 2021年1月2日以前に就職・転職・退職・開業・廃業
就職・転職・退職・開業・廃業後の年収 (見込み) はいくらですか。
(給与明細、簿簿、年収見込証明書、廃業届等の学校への提出が必要です。)
・給与所得者 給与支払金額合計 年額 万円
・給与所得以外 (商店・農業工業、個人経営) 所得金額合計 年額 万円

※申込時点において、複数の勤務先または複数の事業経営があり、1つでも2021年1月2日以前に就職・転職・退職・開業・廃業している場合はこちらに年額 (見込み) を入力してください。
※全ての勤務先で退職・全ての事業経営で廃業しており、手当等も受給していない場合は、年額0万円と入力してください。
※海外勤務の場合でマイナンバーを提出できない場合もこちらに年額 (見込み) を入力してください (マイナンバー提出不可に係る所定の手続きが必要です)。
※2021年以降海外勤務期間がある方は、マイナンバーを提出した場合でもこちらに年額 (見込み) を入力してください。

③ 生計維持者①は2022年1月1日の時点で生活保護を受けていますか。
 はい いいえ

(h) 生計維持者①は2022年1月1日の時点で日本国内に住んでいましたか。
 はい いいえ

④

◆全員記入

①	生計維持者①(一人目)について記入してください。 ・続柄 ・氏名 ・住所 ・生年月日 ・マイナンバーの準備状況
②	申込時点の生計維持者①の所得について、該当するものすべてに <input checked="" type="checkbox"/> を入れる。 ※貸与奨学金案内P.32~38を確認して <input checked="" type="checkbox"/> を入れ、書類提出が必要な場合は提出してください。
③	②で「1.給与所得」「2.商店・農業工業、個人経営」を選択した人は、あてはまるものどちらかに <input checked="" type="checkbox"/> を入れてください。 なお、2022年1月2日以降に就職・転職・退職・開業・廃業している場合は、年収見込みを記入し、収入に関する証明書を提出してください。 ※貸与奨学金案内P.32~38を必ず確認して書類の準備をしてください。
④	生計維持者①について回答してください。

① 生計維持者② (父、母など)

(a) あなたの続柄 (a) 父 母 祖父 祖母 兄弟 姉妹 その他

(b) 生計維持者の氏名 (b) 漢字 (全角漢字) 姓 名
カナ (全角カナ) カガク ハナコ

(c) 生計維持者の住所 (郵便番号) (半角数字) ---- 住所種別
住所 1 (自動入力)
住所 2 (番地以降) (全角文字)

(d) 生計維持者の生年月日 (d) 年 月 日生

(e) 生計維持者のマイナンバーを欄に提出する準備はできていますか。
(注1) 「その他」を選択した人は、提出できない事情を選択してください。
(注2) 家計調査のため、マイナンバーの提出が必要です。
提出できない場合は、別途毎年所得証明書の提出が必要となります。
 準備できている
 これから準備する
 その他

②

1. 給与所得 (年額 万円)
 2. 商店・農業工業、個人経営 (年額 万円)
 3. 失業手当 (年額 万円)
 4. 生活保護費
※生活保護費はマイナンバーより情報連携しますので、金額の入力は不要です。
該当する場合は、2のみを入力してください。

5. 養育手当 (年額 万円)
 6. 年金 (年額 万円)
 7. 児童手当・児童扶養手当・特別児童扶養手当 (年額 万円)
 8. 扶養等からの補助や養育費等 (年額 万円)
 9. その他 (年額 万円)
 10. 2021年1月1日以前から無職

③

2021年1月2日以降に就職・転職・退職・開業・廃業しましたか。
○2021年1月1日以前から同じ勤務先(同じ業態形態で事業経営)
※生計維持者のマイナンバーから収入情報を連携しますので収入金額の入力は不要です。

2021年1月2日以降に就職・転職・退職・開業・廃業
就職・転職・退職・開業・廃業後の年収(見込み)はいくらですか。
(給与明細、納税、年収見込証明書、雇用契約等の学校へ提出が必要です。)

・給与所得者 給与支払金額合計 年額 万円
・給与所得以外(商店・農業工業、個人経営) 所得金額合計 年額 万円

④

(g) 生計維持者は2022年1月1日の時点で生活保護を受けていましたか。 はい いいえ
(h) 生計維持者は2022年1月1日の時点で日本国内に住んでいましたか。 はい いいえ

貸与奨学金制度

申込手順等

スカラネット入力下書き用紙

貸与開始と返還

◆全員記入

①	生計維持者②(二人目)について記入してください。 ※母子・父子家庭等で生計維持者が1名の場合は記入不要です。 ・続柄 ・氏名 ・住所 ・生年月日 ・マイナンバーの準備状況
②	申込時点の生計維持者②の所得について、該当するものすべてに <input checked="" type="checkbox"/> を入れる。 ※貸与奨学金案内P.32~38を確認して <input checked="" type="checkbox"/> を入れ、書類提出が必要な場合は提出してください。
③	②で「1.給与所得」「2.商店・農業工業、個人経営」を選択した人は、あてはまるものどちらかに <input checked="" type="checkbox"/> を入れてください。 なお、2022年1月2日以降に就職・転職・退職・開業・廃業している場合は、年収見込みを記入し、収入に関する証明書を提出してください。 ※貸与奨学金案内P.32~38を必ず確認して書類の準備をしてください。
④	生計維持者②について回答してください。

